

# えんちょう先生の わくわくだより

H29. 4. 12 NO. 1



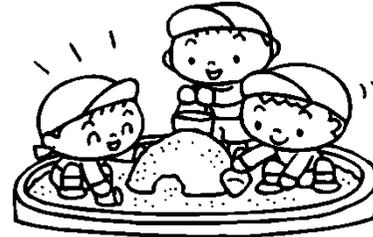
平成29年度のスタートは、未満児21名、3歳以上児125名、計146名のこども達と共に始まりました。お父さんやお母さんと一緒に新しいスモックを着て、にこにこ入園式に来てくれた39名の新入児、一つずつ大きい組になった在園児の年少さん、年中さん、年長さん。みんなでこの一年、楽しい生活を作っていきたいと思います。新入園の子は10日から、お家の人と離れた集団生活が始まりました。大勢の中を物ともせず、おもちゃの三輪車やボールで遊びだす子もいますが、中には何となだめようとも「ア〜ア〜」「ママ来る？ママは？」と不安いっぱい、何度ティッシュで拭いても後から後から涙の出る子もいます。「先生もそばに座らせて？」と近づけば「やだ！」と離れて「ア〜ア〜」。それでも、スピーカーから流れ始めた音楽に、「あれ？鳴ってる？」と、ふっと黙った瞬間に、「ミッキーマス♪ ミッキーマス♪」と歌ってやると、「知ってる」・・・「一緒に、あっちに行って体操をしようよ」の誘いかけに、やっと泣き止んだA君とB君の手を引いてみんなの集まっている所へ向かいました。年長さんがフラフープを回していると、「ぼくも！」と持ってきた年少のC君、わっぱを勢いよく下に打ち付けたと思ったら、中の自分がくるくると回りだして、そのしぐさの可愛さに大笑い。水を入れた重いやかんを運ぶD君には、「先生も手伝おか？」と声を掛けると、「ぼく、重かったんだ！」と言います。もういい加減、この辺でいいだろうと、そばにあった「このお茶碗につごうよ」と声をかけたのですが、そんな先生を振り切り、まだ先の砂場の穴まで運んでザブー！。そうなんだ、子どものやる事には訳がある・・・と思いながら、たくましいK君を見守った事です。新入園児のこども達が慣れて落ち着いて生活が出来るまでには、まだ時間が掛かりそうですが、大きい組の子を頼りにしながら、早く、みんながニコニコ顔で、元気いっぱい遊べる様に、励ましていきたいです。朝の登園時、泣く子を置いて行かれるお母さんやお父さんは、心配されるかと思いますが、大丈夫！園に慣れずにやめていった子は一人もいません。案外、お母さんの姿が見えなくなった頃には、すまして遊び始める子も多いですよ。唯、今まで家で過ごしていた頃とは違って、集団の中での生活に慣れるまでは、疲れると思いますので、夜は、早めのお風呂と就寝をお願い致します。



手が届かなかったので、捜してきたバケツに乗って、タマ入れを楽しむK君でした。遅いね。



## 入園、進級当初のこども達



小さくても友達と一緒に楽しいね...

一つずつ大きい組になった在園の子がともしっかりし、頼もしくみえます。新しいクラス、新しい友達、新しい先生・・・新たな環境の中で、この一年、どんな楽しいドラマが生まれていくのかとても楽しみです。安気に失敗が出来、何でも思ったことが言え、いつも笑いと笑顔に包まれている様なクラス作りをしていきたいです。合言葉は「こどものやる事には訳がある」・・・丁寧にこどもの気持と体の育ちを支え、向き合っていきたいです。



年中組のR君。月曜日朝の自由遊び時、「園長先生、黄色いチュウリップが咲いたよ」と言うから、「朝、園長先生も、うわ！きれいと思ったよ。誰か気が付くかなあ？」と思っていたら、R君、気がついてくれたんだ。「お水をあげなくちゃあ...」そう言って、何度も小さいジョウロに水を汲んで、撒いてくれたR君。こんな感性を大事にしたいなあと思いました。



4/11 雨降りだったので、遊戯室でリズムを踊ったよ。先生を見ながら手足を動かす子、あちこち走り回っている子、急にCDを止めてしまう子と、色々だったけど、泣く子もなく楽しそうでした。

### お知らせ

こども達の育ちや、発達をみて、心配な事や、聞いてみたい事がありましたら、気軽にご相談下さい。園には副園長が、特別支援コーディネーターとしておりますので、職員室に寄って頂ければ、お話が聞けます。

### 本エム

ゆめをえがいて  
きぼうを

えがいて

かわいいこどもたちが  
やってみました

あのがやくひとみに

あのがやさしいこころに

あのがわらかいてに  
いっぱいしあわせを

つかませて

あげたいです

わたしがあなたの

せんせいです

がんばろうね

ひとりぼっちの愛の詩より

須永 博士